

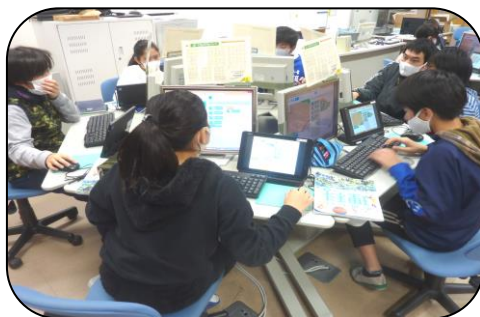
みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

令和2年12月7日発行
筑前町立三輪小学校
所在地：筑前町新町400
TEL：0946-22-2215
文責：校長 東野 正美

プログラミング教育

今年度から全面実施をしている「学習指導要領」の中に、「プログラミング教育」が新たに取組みすることとして位置づけられています。コンピュータがプログラムによって動き、社会で活用されていることを体験しながら学習するという内容です。6年生は3学期に理科「電気の利用」でプログラミング教材を使って学習をしますが、その前段階として、インターネットにアクセスして2種類の教材を使って学習を行いました。



前に進んで、右に九の度
曲がって、これを4回く
り返して・・・

小学校でのプログラミング教育は、プログラミング言語を覚えたり、プログラミングの技能を習得すること自体をねらいとしている訳ではなく、「プログラミング的思考」を育み、より良い社会を築くことをねらいとしています。例えば、1年生の国語科「じどうしゃくらべ」で、「はじめ・なか・おわり」の構成を考えて伝えたいことをまとめることも、この思考を支える土台となっています。

「プログラミング的思考」

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力。

(小学校学習指導要領 総則編より)

オンラインで自動車工場見学を

例年でしたら、5年生は社会科「自動車の生産にはげむ人々」の学習の一環として、自動車工場見学を行っています。しかし、今年はコロナ禍のため、オンラインによる学習を行いました。

はじめに、自動車工場の担当の方から自動車の生産の流れを教えていただき、未来の自動車についても一緒に考えていきました。また、子ども達の質問にも1つ1つ丁寧に答えて頂きました。

三輪小学校初のオンライン授業でしたが、今からこのような形の授業も1つの方策となっていくんだと感じました。



自動車工場の担当の方と
会話をしながら学びを

☆「みわ道」の子☆

祖父母学級・家庭教育学級で「寄せ植え」を行いました。学校を卒業しても、お子さんやお孫さんを通して共に学び合える環境があることは本当に素晴らしいと思っています。また、学級生の輪が広がることで、みわっ子達をあたたく見守る地域の目が増えていくのを感じています。



先日、地域の見守り隊の方から、「低学年の子が横断歩道を遊びながら渡っていて危ないので、注意をしました。」というお声をいただきました。先週、低・中・高学年にわかれて朝倉警察署と筑紫野自動車学校の方に来て頂いて、交通安全教室を行っています。低学年は、横断歩道の渡り方や、横断歩道がない場所での横断について、3年生以上は自転車の点検の仕方と安全な乗り方について学んでいます。

命を守る上からも、再度**お子さんと交通安全について確認**をお願いします。